

茨城大学大学生の現地視察・講義

（一社）港湾技術コンサルタント協会（港コン協：柴木秀之会長、会員数：39 社）は、12月19日に茨城大学大学生の課外授業の一環として実施された茨城港常陸那珂港区の現地視察に同行し、港湾事業に関わる計画・環境・設計分野について講義した。

当日は、茨城大学の学生 63 名が、協会からは高橋浩二副会長、海野敦事務局長と会員会社の株式会社エコーから 4 名、株式会社日本港湾コンサルタントから 3 名が参加し、現地視察と講義を行った。常陸那珂港の現地視察では、北ふ頭地区の外貿ターミナルと中央ふ頭地区のモータプールおよび海面土砂処分場を視察したのち、茨城県流域下水道事務所那珂久慈浄化センターに移動後、講義を行った。講義では、港湾管理者の役割や建設コンサルタントの役割について紹介したのち、10 分程度ずつ、計画分野（エコー：花井健太主任技師）、環境調査（エコー：吉田光寿副担当技師）、設計分野（日本港湾コンサルタント：秋山莉亜技師）について説明した。また、施工や維持管理分野の講義は、茨城県土木部の米川雄平主任が担当された。

（文責：海野敦事務局長）

写真は、講義の様子（写真上）と講義する花井健太主任技師（同左下）、秋山莉亜技師（同右下）

